



続報 暑い夏、児童クラブのお弁当 カバンに入れたまま教室で保 管、大丈夫？

梅雨時期と夏(7月から9月)は、湿度や気温が高く、細菌が増えやすいので細菌性の食中毒の発生件数が増える時期です。細菌性の食中毒は、栄養、水分、温度の3条件がそろって発生します。危険温度は一般的に30～40度と言われ、最短約10分で菌が増殖するといわれています。総菜やお弁当を購入でも、家までの温度管理が重要です。

夏休みは熱中症と食中毒の危険が高まる！

今年の夏休みは、春休校の影響で8月1日から25日までに短縮されています。先月のFAXニュースでもお伝えした、児童クラブの子どもたちのお弁当の保管について、教育委員会と岡山っ子育成局に食中毒が起きないように対応するよう市民ネットとして要望しました。

岡山っ子育成局は、7月28日付で「職員が、昼食の受け取りのために、登校時に合わせて朝から出勤した場合に夏(7月から9月)は、別途、補助対象とすることを検討しています。」という文書を、放課後児童クラブに出しました。

7月の保管状況

岡山っ子育成局は、昼食の保管状況等に関し7月31日に調査を行い、お弁当をクラブが預かった7クラブ、学校が預かった12クラブ、教室で児童が各自保管61クラブ、昼食をクラブで用意19クラブという調査結果でした。2割強のクラブが食中毒を心配し、昼食を用意したことには驚きます。

8月に向けての対応

8月26日から二学期が始まります。8月中は給食がありません。8月20日、岡山っ子育成局は新たに「児童が持参する昼食(弁当)

への対応等について」で、まずは児童クラブでの受け取りを検討する、それが無理なら児童クラブから学校に相談するとしています。

教育委員会としては相談があれば各学校が対応するとしています。

各児童クラブ関係の皆さん！

子どもたちの食中毒防止に向け、遠慮せずに学校に相談してほしいと思います。

第7回岡山市議会議員 女性の会を開催

8月21日、第7回岡山市議会議員女性の会を岡山市中央卸売市場にて開催しました。

高間直美会長(瀬戸内市議)から、岡山市議会議長会に、連携を要望しましたが、継続審査になったとの報告があり、引き続き要望していきたいと思います。また各市議会の女性はまだまだ少数であり、増やしていく努力がさらに必要です。

会長の大役

開催地の議会から会長を出す慣例により、私が会長に指名され、皆さんのご賛同をいただきました。

今回は中央卸売市場見学をオプションで実施しました。青果売り場での競りやマイナス48度の冷凍庫体験など、貴重な体験でした。

プラウド岡山の鈴木富美子代表からの講演「パートナーシップ宣誓制度導入に当たって」では、性的マイノリティの方々の生きづらさや、そして誰もがそのひとらしく生きていける社会の実現を目指すことの重要性のお話がありました。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼ 8月31日(月) 学習会「岡山空襲を語り継ぐ」
10:30～ 東公民館
主催：地区図書館研究会
参加申し込み270-5333まで
- ▼ 9月1日(火)～24日(木) 9月定例岡山市議会
市民ネット代表質問 9/9(水)